

更新		SDGs達成に向けた取組みチェックリスト			事業者名: 肥銀ビジネスサポート株式会社		・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。(様式第2号)																		
分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・当社中期経営計画(期間:2024.4～2027.3)、年度事業計画を策定。 ・社長が、部長会で説明し、各部長が各部員に周知徹底している。 ・施策については、社内HPに掲載し、共有・実践している。								8	9									17		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守に関する規程があり、社内6部署において、毎月「コンプライアンス研修」を実施し、従業員の意識醸成に取り組んでいる。																	16			
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・不正競争の禁止を含めた「コンプライアンスマニュアル」を制定し、全従業員に、重要性を周知徹底している。・・・マニュアルは仕事HPにリンク済、安否確認メールシステムを利用して周知徹底している。										10							16			
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・社長が、担当者を任命している。 ・当社の事業活動が、社会・環境に及ぼす影響を十分に把握している。																	16			
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・2021.9月新規開業の倉庫業に伴い、「文書管理システム」を構築している。 ・業者との契約書の条項に組入れている。								8.2 8.3	9								16			
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・各部署にて、個人情報の適切な管理について研修を実施している。 ・プライバシーマーク更新(2023.9.3審査会にて適格と認定) 登録番号:18410014(02)																16				
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・当社顧客である肥後銀行とは定例会等で情報を共有し、要望等を汲取り、双方向のコミュニケーションに取り組んでいる。																16	17			
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●						5				8		10		12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	・地震の経験を踏まえ、2018年度より事業継続計画(BCP)を毎年更新し、訓練を行っている。 *2024年度版は、4月に改定しており、11月に訓練実施予定。										9		11		13.1			16	17		
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●										8	9								17		
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●			1	2			5			8				12	13	14	15	16	17		
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・毎年、社内で役員・部長へ各種ハラスメント禁止に関する研修を実施している。 ・各部長が所属の従業員に対し、同様の研修を実施している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・リスクアセスメントの実施及び定期的な見直しを実施している。 ・毎年、熊本県労働基準協会の主催する安全衛生推進者養成講習に参加している。				3				8.8												
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員(正社員・準社員・スタッフ)の公正な待遇を実施している。 ・当社の給与規定に沿った公正な対応を実施している。					5.5			8.5		10.2 10.3										
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・WEB会議、テレワークを推進している。 ・毎月開催の部長会にて、有給休暇の取得状況を確認し奨励している。				3		5.5		8.5 8.8		10.3										
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・運送業、倉庫業、熊本県トラック協会等主催の外部研修の受講や各種資格取得を奨励しており、必要経費を支給している。 ・定期的な社内の部署の異動による互換性向上により、多種に亘る教育訓練の機会を従業員に提供している。					4	5.5			8	9										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・毎朝の朝礼時に交通事故等への注意喚起を実施している。 ・人間ドック・脳ドック費用は、肥後銀行健康保険組合と当社で受診費用補助、インフルエンザ予防接種の費用は肥後銀行健康保険組合が全額費用負担し、受診させている。				3					8								17			
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・自衛隊退職者を適宜採用し、適応状況を判断し、各部署に配属している。 ・障がい者を母体行より出向受入している。・65歳以上の高齢者も、能力・意欲に応じ、スタッフとして継続雇用している。					4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7			
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・在宅勤務(テレワーク等)を導入するなど、新しい働き方に対する労務管理体制を整備している。 ・WEB会議の開催、会議室の窓開けを徹底している。 ・感染症対策として出勤時の体温測定、手のアルコール消毒を実施している。									8	9.1		11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・倉庫業開業に伴い、「文書管理システム」を構築している。 ・人事管理システムを導入し、従来の紙ベースからPCでの運用に変更している。									8	9.1		11	12							
21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●					3	4					8	9			12							

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・トラックの燃料に従来軽油を使用していたが、2020年7月より、燃料にアドブルー(尿素SCRシステム)を使用し、窒素酸化物の量の削減に貢献中。(対象営業車5台)			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・毎月、電気の使用量削減について「節電くん:電気使用量把握機器」にて管理している。 ・ガソリン使用量(スコープ1)を用いてエネルギー使用量を把握している。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・トラックの燃料に従来軽油を使用していたが、2020年7月より、燃料をアドブルー(尿素SCRシステム)を使用し、窒素酸化物の量の削減に貢献している。(対象営業車5台) ・ガソリン使用量(スコープ1)を用いて二酸化炭素の排出量を把握している。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・トラックの燃料に従来軽油を使用していたが、2020年7月より、燃料にアドブルー(尿素SCRシステム)を使用し、窒素酸化物の量の削減に貢献している。(対象営業車5台)						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・古紙回収、保存経過の書類については、契約業者において溶解し、再利用の資源(トイレットペーパー等)に変換している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・各事務所の水道蛇口近辺に「節水」のステッカーを貼り、無駄な水を使用しないように社内で徹底している。 ・会社内の水道設備に節水器具を設置している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.5 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・社内で再生紙利用を推進している。 ・社内備品等については、グリーン購入の推進を行っている。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15	
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15	
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	・【予定】環境配慮自動車の購入。【2025年12月】										9.4		11.2		13.1 13.3			
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a			9.4		11.6 11.a	12.8	13			17.2

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・文書保管業務等に関し、リスクアセスメントを行い、安全性と品質の確保に取り組んでいる。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・本社玄関入口階段、プラットホーム横の階段、倉庫入口に手すりを設置し、転倒等の未然防止を行っている。実施日:2021年8月27日 ・定期的に執務環境を見直し、環境整備を行っている。									9.1	10	11.7					17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・従業員に対し、居住する地域の活動に参画するように奨励している。 ・本社所在地の地域活動に毎年1万円寄付している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・当社3事業所のハザードマップ、各従業員の自宅のハザードマップを確認させている。・事業継続計画書を毎年改定(2024.10月改定済)、社員には「地震対応ポケットブック会社・自宅用」を配付している。 ・2024年7月に最新の緊急連絡網を配付している。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・社内にSDGsのポスターを掲示し、普及啓発している。 ・毎年当社社員(自衛隊OB)による消防活動の実践訓練を行っている。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●					4					8.6		10.2						17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4					8.5 8.6								17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15	